一般社団法人安来青年会議所 2022年度スローガン

行こう、想像する未来

題字　理事長　景山 潤一

JCI
Junior Chamber International YASUGI

一般社団法人
安来青年会議所
広報誌ふれあい

2022年度
第56代理事長
景山　潤一
景山総業㈲　代表取締役
2018年入会

安来市民の皆様へ

新年、おめでとうございます。

私は二〇二二年度一般社団法人安来青年会議所第五十六代理事長を務めさせていただきます景山潤一と申します。

一般社団法人安来青年会議所の運動に対しまして平素より格別のご高配戴きありがとうございます。本年度も変わりませぬ、ご理解とご支援賜りますようよろしくお願い致します。

寅

二〇二二年度　基本方針

一、受けた恩と愛を未来へと繋ぐ、想像する会員拡大

二、JC運動から意識の変革を、想像するまちづくり

三、「きょういく」を追い求め、想像する青少年育成

四、輝く個性を結集し、想像するJCブランドの確立

はじめに

「想像」とは「実際に経験のない事柄を思い描くこと」とあります。本来の意味とは異なりますが今年度のスローガンに込めた「想像する未来」とは、理想の未来を思い描くだけではなく「実現させるために様々な目標を設定し行動していく」ことで心の中の想像で終わらせるのではなく現実になるストーリーを思い描きそれを形にするということです。最初は一人の心で生まれる小さな想像がやがて人々の意識を変える大きな運動へと変革することを証明していきます。未来を待つのではなくこちらから迎えに行くという気概を持って「行こう、想像する未来へ」とさせていただきました。

また昨年度創立55周年を迎え60周年へ向けた今後5年間の中期ビジョン「Be the Compass」を策定いたしました。この指針に沿って運動をしていく1年目となる今年度、過去を受け継ぎながらも失敗を恐れることなく新たな挑戦をすることでより良い地域社会を創る起点となる運動を行います。

第56代理事長の職をお預かりするにあたり1年後の私たちの組織が、そしてこのまちが、想像する未来となるために揺るぎない覚悟で突き進んでいきます。

受けた恩と愛を未来へと繋ぐ、想像する会員拡大

全国各地の青年会議所が抱える課題の一つとして会員減少が挙げられます。JCI安来でも会員拡大は必須条件です。会員が減少すれば運動していく力も小さくなり個人の志がいくら高くても組織として機能していくことが難しくなります。そして何より次の世代へと志を受け継ぐ会員がいなくなればこれまで培ってきた先輩諸兄姉の志が閉ざされてしまうことになります。その危機感を持って会員拡大をしていかなければなりません。

私は2018年に入会して以来JCでの活動・運動を通して先輩方から多くのことを学び新たな経験をすることで成長に繋がったことを実感しています。ときに励まされ、

突き放されたことが今思うと全て愛情であったと感じます。創始から連綿と受け継がれてきた志は今なお私たちを突き動かす原動力となっています。

そして何より良かったと思えることは共通の目的に向かって行動し、共に成長できる仲間と出会えたことです。私たちが活動していくなかで最も嬉しいことは間違いなく新たな仲間が増えたときです。明るい豊かな社会の実現を目的に掲げる私たちの心の豊かさとは、この組織の中で自らの役割を果たし周囲から必要とされていることを実感し、まちのため、誰かのために行動することに喜びを感じることです。

２０２２年度一人でも多くの会員を増やし、想像する未来を創るため会員拡大を一丸となって行っていきます。

ＪＣ運動から意識の変革を、想像するまちづくり

活動と運動の違いと聞かれたら何と答えるでしょうか。活動は一人でもできるが運動は一人ではできない。活動に賛同した人が私も一緒にやりたい、そう言って参画する人が増えていく。これが運動だと私は考えます。

そして「まちづくりは人づくり」という言葉を聞いたことがあると思います。これはそこに住み暮らす人々がまちを愛し、自分にできることは何かと考え共に行動する人が増えていくことによってまちが創られていくということです。

二つに共通していることは、人の意識が変化しているということです。そのためにはまず、誰かが最初に行動を起こす勇気が必要です。私たちが行う運動の根底にあるのがまさに「人の意識を変え、行動する人を増やす」ことです。様々な手法を持って行うまちづくりは最終的に人の心に響かなければ意味がありません。自分の少しの行動が誰かのためになり、自分の幸福もまた誰かの行動の上に成り立っています。意識を変え勇気を持って立ち上がる人づくりを行っていきます。

私が子どもの頃、まわりの大人にとても愛されて育ちました。なぜあんなにも無条件で可愛がってくれたのかが自分が親になって初めて理解できます。豊かな地域資源や伝統芸能などの影響もありますが一番は近くの大人に愛されて育ったから私はこのまちが好きでいられるのではないかと思います。当時の大人たちからもらった愛を私たちはまちのため、未来のために返していかなければなりません。

「まちづくりは人づくり」時代が変わってもこの信念だけは変わりません。活動が運動へと変わる変革の起点となる明るい未来を想像する運動を行っていきます。

「きょういく」を追い求め、想像する青少年育成

子どもの成長過程において様々な場面で「褒める、叱る、励ます」など、どんな行動をすることが子どもにとって一番良いのかを私たちは考える必要があります。

言葉や習慣を身につけ自らの意思で行動していく過程で私たち大人は子どもの人格を形成することに非常に大きな影響を与えています。私たちは子どもに物事を教えないといけないと思うあまり自分の価値観を押し付けてしまってはいないでしょうか。私たちは子どもよりも少し長く生きているだけのまだまだ成長段階にあります。子どもが自分で学び成長していく力をサポートし、大人も嬉しいときは笑い、悲しいときは泣き、感情を素直に表現することで子どもに安心感を与え本気で向き合うことができます。そして親と子どもが共に成長していくことがより良い「きょういく」に繋がります。「教育」、「共育」、「協育」、その他にも様々な「きょういく」がありますがどこか一方に偏ることなく全てが必要な要素です。その中で私が最も重要だと思うことは、子ども自身が実体験を通して、学ぶことは楽しいことだと感じられることです。子どもたちに頭で考えるだけでなく体で感じてもらい、もっとやりたい、もっと知りたいと思う気持ちを伸ばしてあげることです。そのために大人も一緒に遊んで学べるふれあいの場を創り、まずは大人がより良い未来を切り拓いていく背中を見せ、子どもたちに自分が進む未来は希望に溢れている、自分も地域を担う大人になりたいと思えるような未来のたからを育てていきます。

子どもたちの可能性を信じ大人が全てを教えるのではなく共に学び成長していくために苦労と喜びを分かち合い希望溢れるふるさとを伝えていく運動を行っていきます。

輝く個性を結集し、想像するＪＣブランドの確立

ＪＣでの活動・運動を通して今までできなかったことができるようになる。そんな不思議な力がこの組織にはあります。それは自分がＪＣメンバーであるプライドと責任を自覚しているからかもしれません。しかし不思議な力とはいえ、入会するだけでそうなれるわけではありません。自分に与えられた役割を遂行するためにどこへ行き誰と会い何をしなければいけないかと足を使い必死になって初めてできることが増えていきます。また様々な事業や県内外のＪＣメンバーとふれあい刺激を受けることでさらに成長を実感できるようになります。そしてメンバーと共通の目的に向かって行動し、それを達成することが最高の喜びとなります。

一人でできることには限界がありますがメンバー全員の力を結集させると、できないことはないのではないかと思うほどの大きな力となります。この力を今必要なことだけに使うのではなく幅広く効果的にこのまちの未来のために使っていきます。そしてそれが誰かの意識を変えることに繋がればまちや企業の発展になります。

私たちの運動は人に認められるためでも自分の利益のためにするわけでもありません。しかし人のために行動することが認められ、結果的に自分のためになっていることを実感します。人々に成長と発展の機会を提供し、地域をけん引するリーダーとなる人財を育成していきます。そしてＪＣＩ安来の魅力を時代に合わせて昇華していく仕組みをつくり、一人ひとりがＪＣＩ安来の価値を高め、組織の一員であることに誇りを持つことでさらなるＪＣブランドの確立をしていきます。

むすびに

想像する未来へ行くためにはただ時が過ぎるのを待っていてはいけません。そこへ到達するためには様々な困難やときには心が折れそうになるほどの壁にぶち当たることでしょう。どんな物語にも何かを成し遂げるまでには必ずそういった壁にぶち当たる主人公の姿があります。その壁を乗り越え想像する未来を迎えにいくまでの壮大なストーリーを思い描き困難を楽しみワクワクしながら突き進んで行きます。

この所信を執筆するにあたり、自分が生まれてから現在までを思い返してみました。不思議と辛かったはずの経験も全て必要なことだったと感じます。そして私の周りにはいつも笑顔と人のぬくもりがありました。それは親であり友人であり近所の大人たちであり、このまちの人たちです。そして今、自分がその人たちのために行動できることが何より嬉しく感じています。

このまちに限らず、人は愛で繋がっていて、人のために何かをしたいという気持ちをもともと持っています。私たちＪＣの運動も時代が変わっても創始から受け継がれた「明るい豊かな社会の実現」という理念は変わりません。今の私たちの暮らしがあるのは半世紀以上前の志ある青年の想像が受け継がれて来たからだと確信しています。

私たちは必要とされるからではなくこのまちと、このまちに住む人が大好きだから、自分の意志で、そして自分のためにこの場所に立ち未来の誰かのためになると信じて種をまき続けます。

「想像することでまだ見ぬ未来の同士が立ち上がる」

「想像することで人々の意識が変わり運動が起きる」

「想像することで小さな手から大きな未来ができる」

「想像することで自身が主役のストーリーが始まる」

全ては想像することから始まる。

希望をもたらす変革の起点としてＪＣ運動を推し進めていくことを誓い、２０２２年度理事長所信とさせていただきます。

想像する地域変革委員会

2022年度
想像する地域変革委員会
委員長
永島 太地
丸永建設㈱ 取締役
2021年入会

私たちが行うJC運動の一つであるまちづくり運動の根底は「人の意識を変え、行動する人を増やす」ことです。このまちづくり運動が「明るい豊かな社会の実現」へ向けた変革の過程として重要な取り組みだと考えます。地域の人々の意識を変えて自ら行動する人財を増やす仕組みづくりを様々な手法を用いて実践し、JC運動へ賛同する人が集まることでより継続性のある波及力を持った取り組みが実現できると考えます。

そこで私たちは地域の人々の意識を変革するためには何が必要かを模索し、明るい未来へ向けた「まちづくり」への仕組みづくりを行います。

安来には誇るべき魅力があります。豊富な地域資源や伝統芸能も魅力ですが、一番は安来に住み暮らす「人」こそが大きな魅力と言えるでしょう。なぜなら安来のまちを持続し、資源を見つけ、伝統芸能を創りだし紡いできたのは、このまちに住み暮らす「人」だからです。その過程で受け継がれてきた愛を私たちはこのまちのため、未来のために還元していかなければなりません。それは私たちが子どものころに受けた愛を想起し「やっぱりこのまち、人が好きなんだ」という原点に返り、地域の問題を自分事として向き合うことで、「明るい豊かな社会の実現」へ向けた行動へと繋げて行くことが重要です。

「明るい豊かな社会の実現」のため、人々の意識を変革していく未来への旗振り役として、「想像する未来」への仕組みづくりを行います。1年間どうぞ宜しくお願いいたします。

想像する未来育成委員会

2022年度
想像する未来育成委員会
委員長
山崎 達矢
Body Care SMILE
2020年入会

子どもへの「きょういく」は頭で理解するだけではなく、心と体で感じることも大切だと考えます。子どもは大人の発する言葉よりも、行動と感情を観て学んでいるからです。

例えば、子どもに挨拶を教える際、言葉だけで伝えるのではなく大人が笑顔で「楽しそう」に挨拶をすることで、子どもはその姿を観て自然に真似をするようになります。

だからこそ大人は常に子どもの手本となり、自らの想いを意識しながら行動することで初めて自立した大人に成長できます。「大人が子どもに成長させてもらっている」と謙虚に学ぶ姿勢で向き合うことで共に成長し、明るく素直な子どもを育むことに繋がると考えます。

そこで私たちが事業を通して、大人と子どもが一緒に体験しながら成長できる機会を創り、大人が楽しく学んでいる姿を間近で観ることで、将来こんな大人になりたいと想像しながら成長できる機会をつくっていきます。

さらに、昨年度からの継続事業「こども議会」につきましては、子どもたちに行政及び議会の理解を深めてもらい、子どもたちの夢のある幅広い意見や要望などを市政に反映させ、自分たちの願いや希望が実現できる体験をすることで、積極的に地域のまちづくりに参画したいと意欲を強く持った若者に育んでいきます。

これらの体験を通じて子どもたちが明るく素直で希望ある未来を想像しながら、地域を担える大人へと育みより一層地域に貢献していけるよう1年間精一杯努めてまいります。

想像するJCブランド確立委員会

2022年度
想像するJCブランド確立委員会
委員長
矢田 敦子
矢田醤油店
2015年入会

私たちJCI安来は、「明るい豊かな社会の実現」という理念のもと運動を行っています。

昨年創立55周年を迎え、これから先の未来へ先輩諸兄姉の志を継承していくためには、JCブランドつまりJCI安来の魅力と価値を改めて明確にし、時代に合わせて一層高めていく必要があると考えます。そのためには一人ひとりが自己研鑽を積みスキルアップをし、組織力を強化していく必要があります。

そこで、当委員会では人々の意識を変えていく地域をけん引するリーダーを育成するために、共に気づき学び、成長できる機会を提供します。

一人ひとりがJCI安来として誇りを持ち、引き継がれてきたまちへの想いやJCブランドを私たち自身がしっかりと学び確立させ、様々な方法で多くの方に伝えるためにも5年間の目標として昨年策定された中期ビジョン「Be the Compass」を共有し、メンバーで力を合わせ、成長していきます。個々の成長が大きな組織力へと変化し、事業を通して多くの人々がJCI安来の運動を知り、理解・共感していただくことで協力に繋がり、JCブランドが周知されていきます。

自分の利益のために行動するのではなく、人のために行動することで周りに認められ自分の成長に繋がり、結果的に企業の発展にも活きてきます。

メンバー一人ひとりの輝く個性が集まり、想像する未来へと進んでいけるようJCブランドを確立してまいりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

新入会員所感

2021年入会
丸永建設㈱ 取締役
永島 太地

昨年の7月より安来青年会議所に入会しました永島太地と申します。今日までの成長の過程で安来市の皆さまに育てていただいた御恩を、より良いまちづくりへ向けたJC運動を通じて還元してまいります。郷土愛溢れる熱き想いを持つJCメンバーと一緒に切磋琢磨し個人としても成長しながら、皆さまとともに明るい豊かな未来へ向けた取り組みに邁進していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

2021年入会
雲樹寺
醍醐 靖幸

2021年9月から入会いたしました醍醐靖幸と申します。創建700年の禅宗寺院、瑞塔山雲樹寺にて38代目住職として法務をこなしながら、地域に誇りを持てるような発信の出来る寺院の姿を求め日々活動している折に、安来青年会議所に声をかけていただいたのを有難い縁と捉え、参加させていただきました。自身の成長と雲樹寺の隆興の為に、努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

2021年入会
平井建設㈱ 取締役
平井 友香

この度、安来青年会議所に入会いたしました平井友香と申します。大学を卒業したばかりで社会人経験が浅く、まだなにもわからない状況ですが、経験豊富な先輩方の元で学ばしていただける機会を大切に、成長していきたいと思っております。また、JC運動を通して、生まれ育った“やすぎ”の良さを再発見し、故郷の振興に貢献したい所存でございます。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

2022年入会
日野木工
日野 祐也

この度、安来青年会議所に入会させていただくことになりました日野祐也と申します。

短い在籍期間となりますが、理事長をはじめメンバーの皆様からご指導をいただきながら色々な事を学びJC活動でさまざまな経験をすることで自身を成長させ、生まれ育った地元でもある安来市の明るい豊かなまちづくりに貢献できるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

中期ビジョン『Be the Compass』の策定

昨年、安来青年会議所は55周年を迎えるにあたり、記念式典を開催しました。節目を迎えるなかで過去の活動を振り返り、今後への改善点を模索した活動指針を定めたことにより、「明るい豊かな社会」の実現へ向けたイノベーションを起こす仕組みづくりを整えました。当団体に興味を持たれた方は、JCI安来のホームページ、又は事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

JCI安来　中期ビジョン　検索

上記QRコードから右絵の説明動画をご覧いただけます

中期ビジョンを
YouTubeにて公開

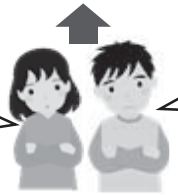
会員募集

安来青年会議所では全会員のうち、女性会員が2割!絶賛活躍中です♪

青年会議所は、20歳から40歳以下の青年経済人によって組織される「まちづくり」「人づくり」の団体です。「明るい豊かな社会」の実現を理念とし、このまちの未来を考え行動しています。

安来青年会議所では、
より幅広い環境の人財が活躍できる制度に改定しました！

本年度の取り組みとして



JCって忙しそう?
私にできるかな?

個人で参加
できる?
お金がかかる?

上記のような不安を緩和

会員制度を幅広く設定⇒まちづくりに参加しやすい環境へ

2022年度役員　紹介

理事長　景山 潤一
直前理事長　遠藤 宗一郎
副理事長　足立 隼人
副理事長　秦 靖英
副理事長　木下 淳
専務理事　内田 浩平
監事　中田 康太
想像する地域変革委員会　委員長　永島 太地
想像する未来育成委員会　委員長　山崎 達矢
想像するJCブランド確立委員会　委員長　矢田 敦子

青年会議所は
SDGsを
推進しています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JCI安来
ホームページ

http://yasugi-jc.com/

「ふれあい新年号」は左記の皆様のご協賛をいただき、発行いたしました。
（順不同）

景山総業㈲
遠藤社会保険労務士事務所
㈲足立建設
㈱はしまや
㈱木下工務店
㈲松浦建設
㈲中田建設
Body Care SMILE
丸永建設㈱
矢田醤油店
雲樹寺
㈲丸和運輸
平井建設㈱

発行所
一般社団法人　安来青年会議所
理事長　景山 潤一
安来市飯島町1240-3
☎22-3038
編集　想像する地域変革委員会
編集長　永島 太地

(一社)安来青年会議所への お問い合せ・ご質問・ご要望は (一社)安来青年会議所事務局
〒692-0014 安来市飯島町1240-3　TEL0854-22-3038　FAX0854-22-3293　E-mail:yasugi-jc@galaxy.ocn.ne.jp　http://yasugi-jc.com
対応時間:月曜日・水曜日・金曜日(9:00～16:00)　広報誌『ふれあい』についてのご感想・ご要望もお待ちしております。